

# 変更する取組

## 1 上養沢地域

ケ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

（ア）実施場所 上養沢地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

（ウ）実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、御岳沢や大岳沢周辺の滝、鍾乳洞、岩石の露頭などの地質的資源の価値や特性を活かした持続可能な活用を行い、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

## 上養沢地域取組図



## 上養沢地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ ニホンジカ・ニホンザル防除事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

## 2 戸倉・小宮地域

テ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

（ア）実施場所 戸倉・小宮地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

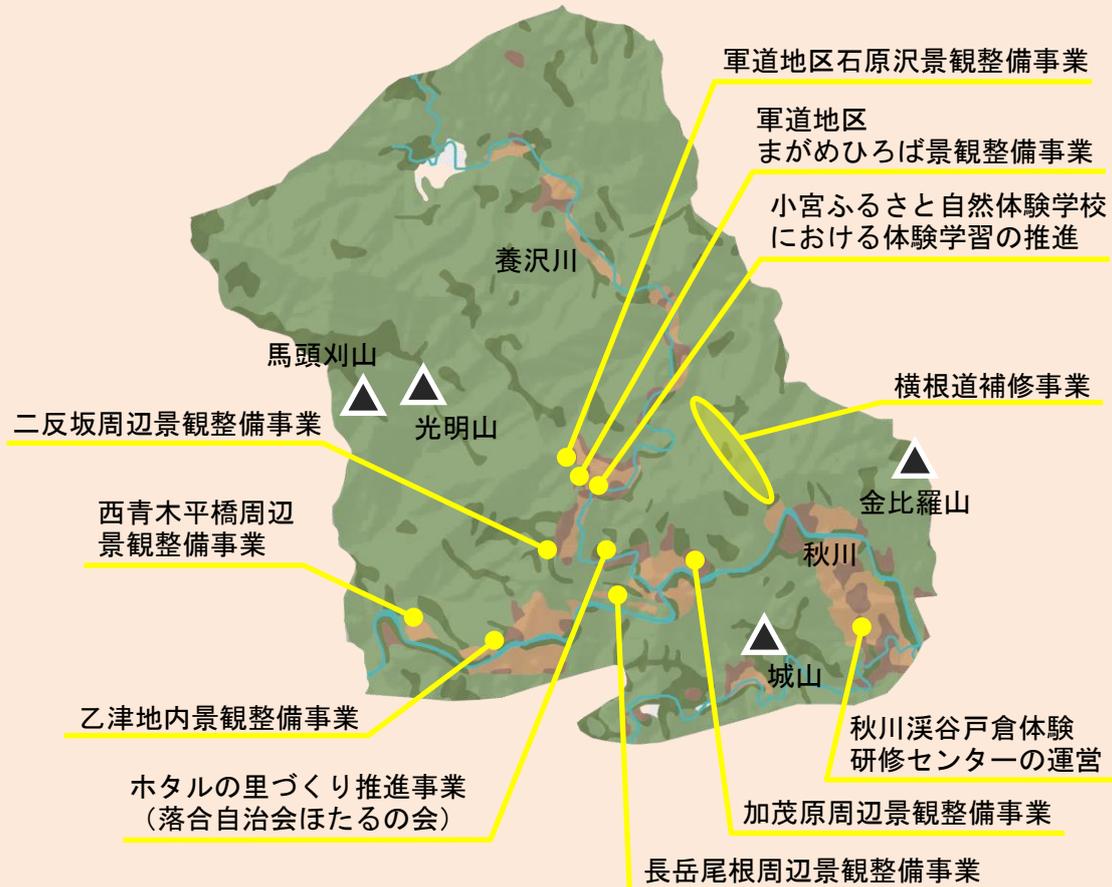
（ウ）実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、秋川渓谷戸倉体験研修センターを拠点とし、秋川流域全体の様々な地形・地質（地層）などの見どころや学術的な価値を発信し、それらの価値や特性を活かした体験や教育等の普及啓発活動を推進することによって、生態系の保全につなげていきます。

さらに、城山（しろやま）の特徴的な地形・地質（地層）と地域の景観や歴史の成り立ちとの関係などを調査・研究し、地域資源の繋がりを発信することで、地域の生物多様性の持続的な保全・活用の循環と理解を生み出します。

## 戸倉・小宮地域取組図



### 戸倉・小宮地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ ニホンジカ・ニホンザル防除事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 森林レンジャーあきる野による森の子コレンジャー活動の推進
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）
- ・ 森林レンジャーあきる野によるアニマルサンクチュアリ活動

### 3 盆堀地域

ケ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

（ア）実施場所 盆堀地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

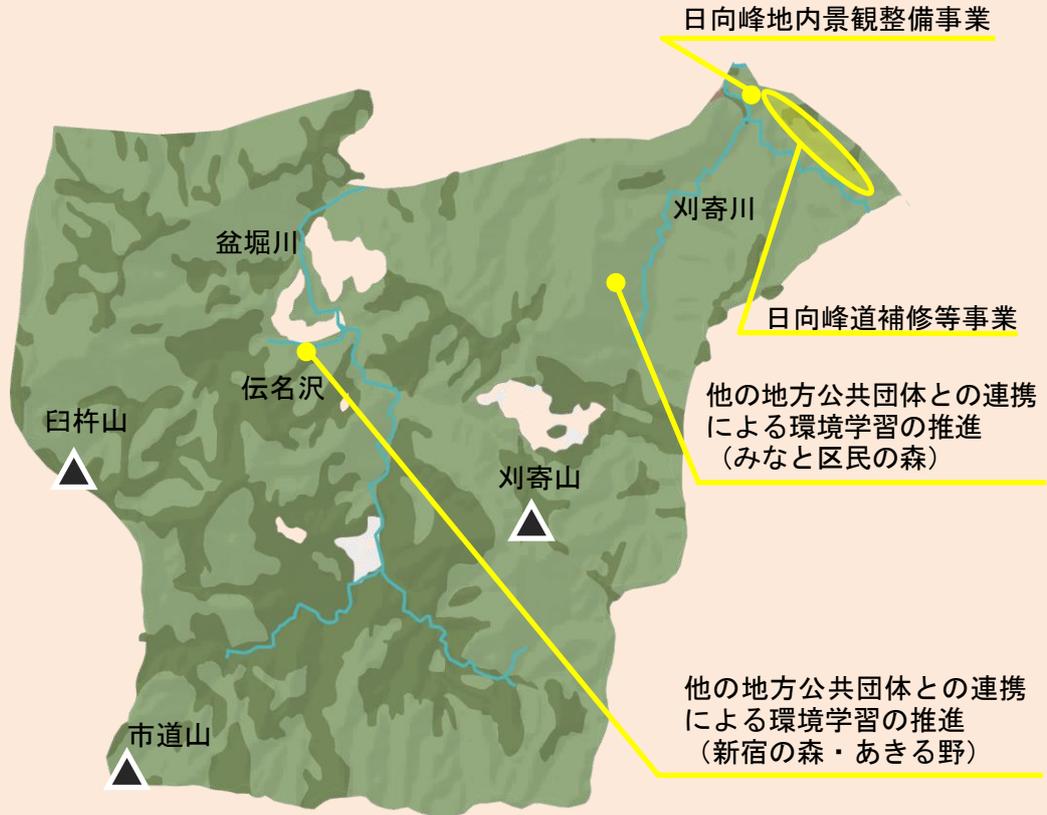
※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

（ウ）実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、「盆堀川」やその支流の美しい渓谷の景観など、地形・地質（地層）に裏打ちされた地域資源の保全・活用を通じ、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

## 盆堀地域取組図



### 盆堀地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ ニホンジカ・ニホンザル防除事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

## 4 深沢地域

セ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

（ア）実施場所 深沢地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

（ウ）実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、鳥ノ巣石灰岩や石灰岩を抱くようにそびえる「山抱きの大カシ」、特徴的な植生などの保全・活用を通じ、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

## 深沢地域取組図



## 深沢地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ ニホンジカ・ニホンザル防除事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

## 5 五日市・増戸地域

サ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

（ア）実施場所 五日市・増戸地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

（ウ）実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、氷河期の名残といわれるカタクリの群落や化石を産出する地層など、地域環境の地史的変遷を示す地域資源の保全・活用を通じ、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

## 五日市・増戸地域取組図



## 五日市・増戸地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

## 6 秋川丘陵地域

コ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

（ア）実施場所 秋川丘陵地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

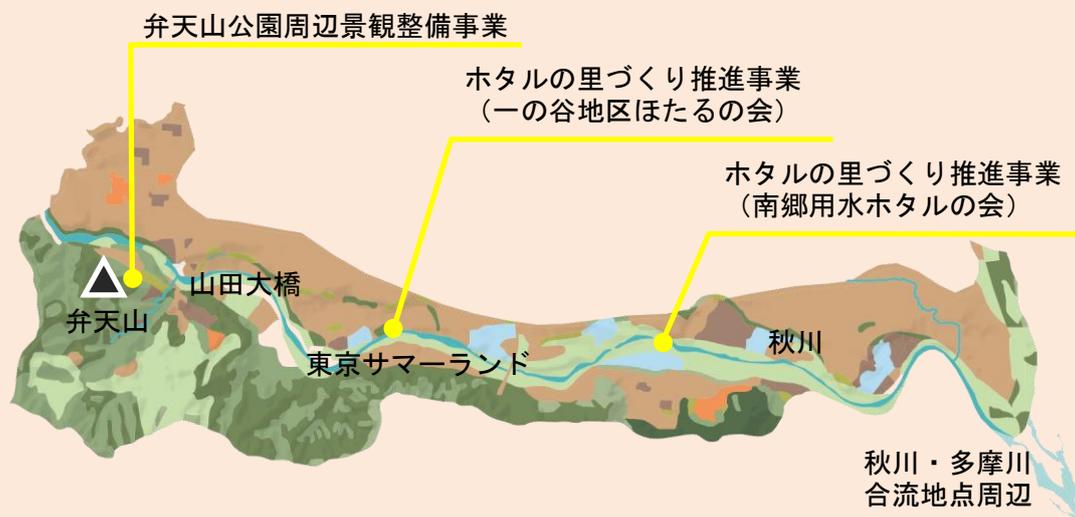
※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

（ウ）実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、秋川丘陵と秋川との境界に分布する崖線には、「六枚屏風岩」などの様々な地形がみられる。その地質的資源の価値や特徴を活かした保全・活用を行い、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

## 秋川丘陵地域取組図



## 秋川丘陵地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

## 7 秋留台地地域

カ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

（ア）実施場所 秋留台地地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

（ウ）実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、秋川や平井川に侵食されたことによって形成された秋留台地や秋川との境界に分布する崖線、崖線上に分布する湧水とこれらの地形にみられる特徴的な地形や植生などを保全・活用し、生態系の保全を図ります。

## 秋留台地地域取組図



### 秋留台地地域全域での取組

- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

## 8 草花丘陵地域

サ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

（ア）実施場所 草花丘陵地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

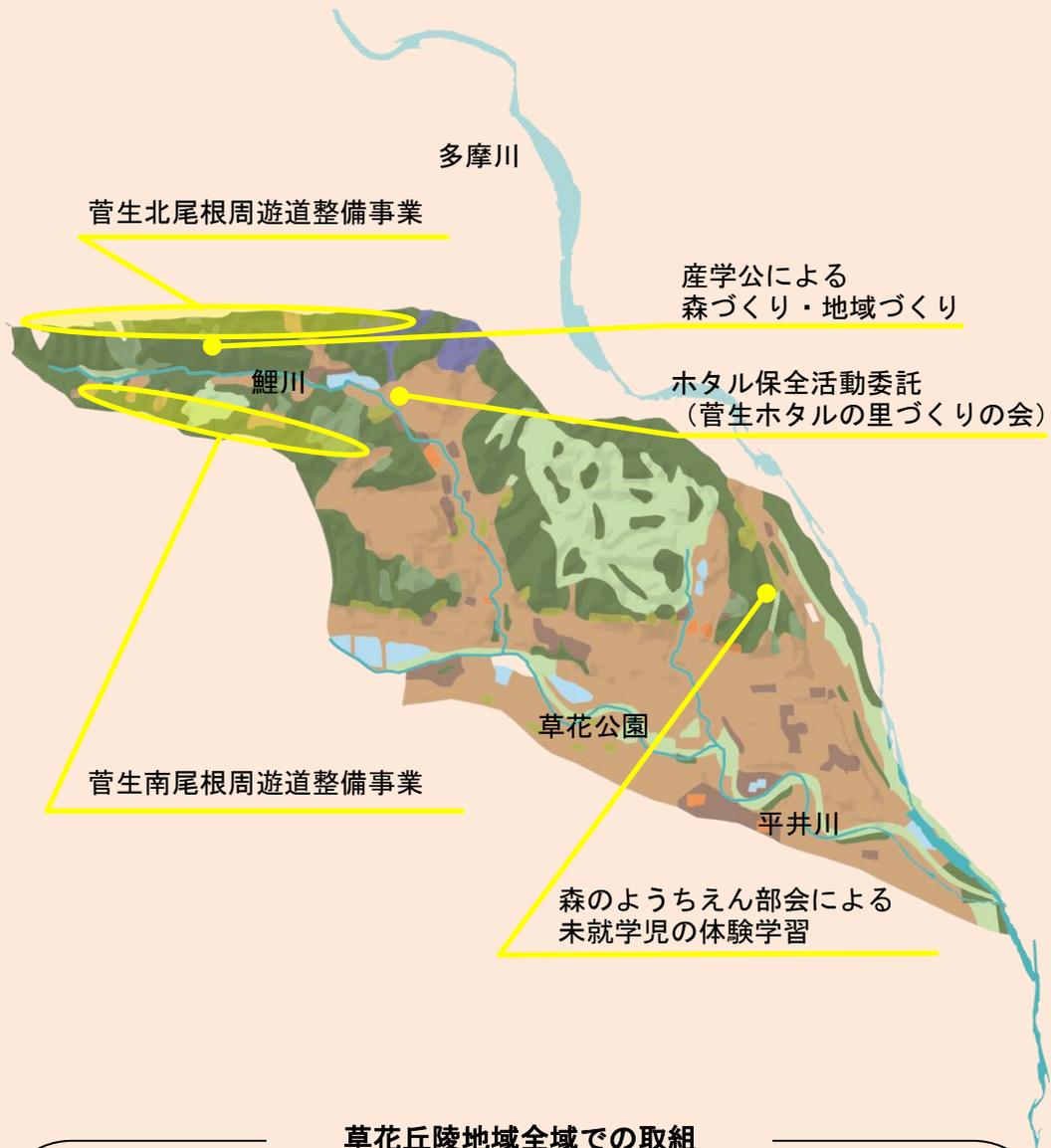
※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

（ウ）実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、多摩川やその支流によって削られ深い谷を刻む地形、秋留台地と平井川との境界に分布する崖線、崖線上に分布する湧水とこれらの地形にみられる特徴的な地形や植生などを保全・活用し、生態系の保全を図ります。

## 草花丘陵地域取組図



### 草花丘陵地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）